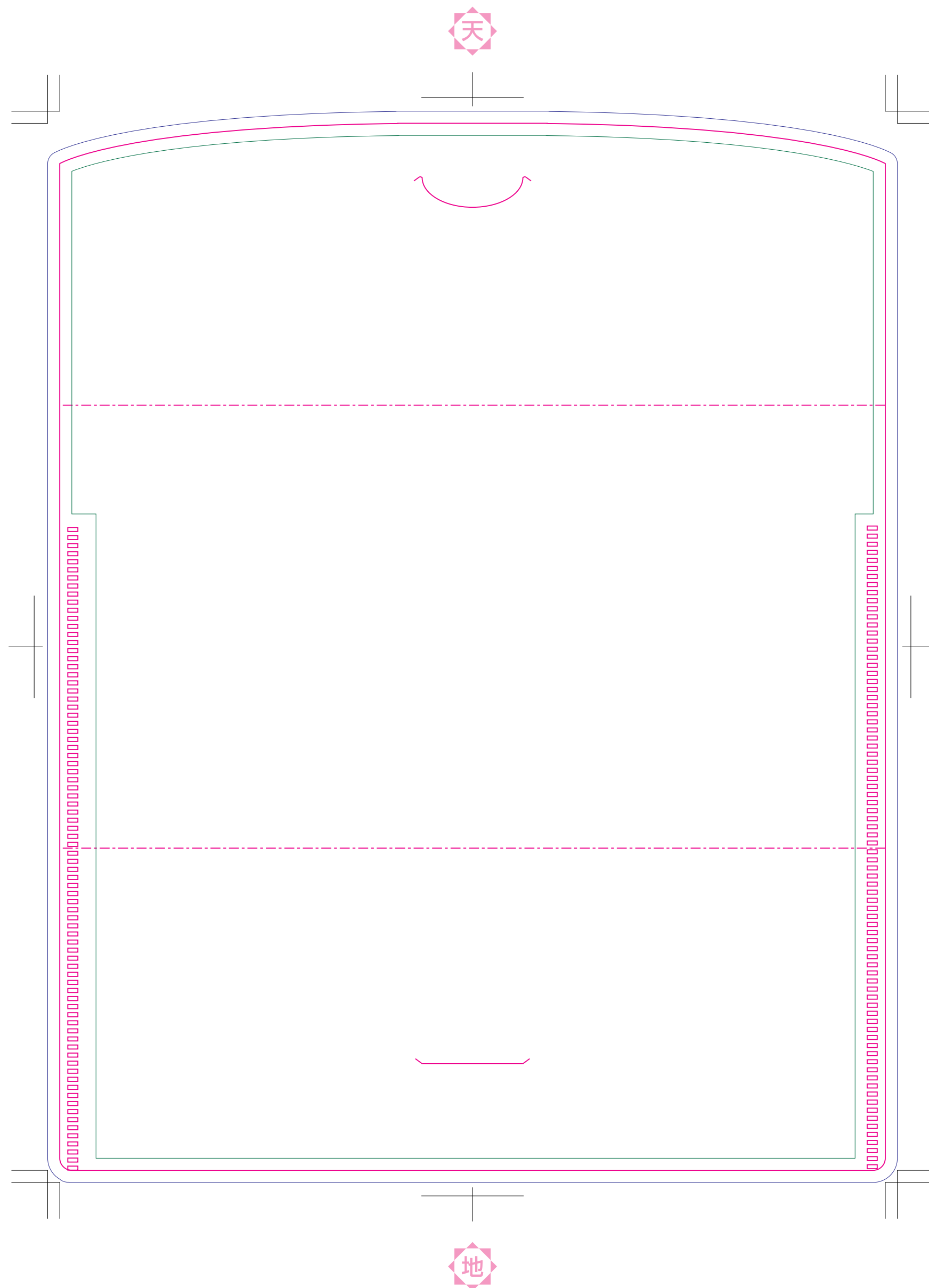


blue

ファイル型抗菌マスクケース (フタあり) 白版なし または 部分白版

● 商品サイズ W205×H110mm ● 展開サイズ W205×H260mm



◎デザインは「カラー版」レイヤー上、白版は「後白版」レイヤー上でそれぞれ作業をお願いいたします。

※ 白版については、このテンプレートは【白版なし】または【部分白版】専用となります。
全面に白版を使用される場合は、テンプレートが別途ございますのでそちらをお使いください。
白版データはスウォッチカラー「White」をご使用ください。

◎プロセスカラーのデータは特色を使用せずCMYKで作成してください。配置画像はCMYKまたはグレースケールで作成します。適正解像度は350dpiです。

◎文字はアウトライン化して（書式メニュー→アウトラインを作成）ご入稿ください。

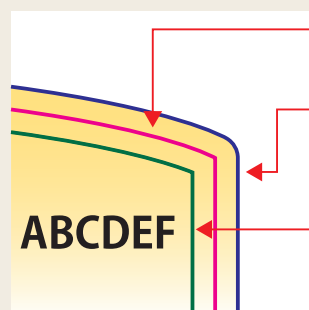
◎パターン機能を使用した場合、「分割・拡張」の処理を行ってからご入稿ください。

◎K100%のみにブラックオーバープリントが適用されます。適用したくない場合はK100%+C1%など他の色を設定します。

◎オーバープリント設定に関しては、お客様がモニターでご覧になっている状態を保証できません。ブラックのみに使用してください。

◎線の太さは0.2pt以上にしてください。ヘアライン（塗のみの野線）は印刷されません。必ず線設定をつけてください。

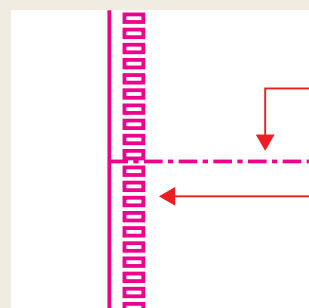
◎入稿用データは別名保存し、開いたバージョンで保存をお願いします。（IllustratorCS6での作成であれば、保存バージョンをcs6にしてください）



◎ピンク線（→）が仕上がリイメージになります

◎フチ無し印刷をご希望の場合は、青線（→）まで色や写真を配置してください

◎文字や絵柄で切れて困るものは緑線（→）の内側に配置してください



◎ピンク線

（→）点線は折り部分

（□）は溶接部となります

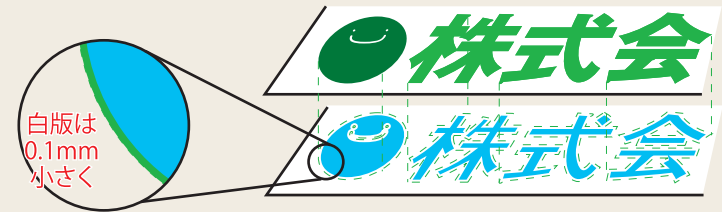
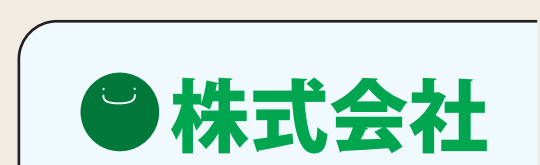
※溶接部（□）は印刷可能ですが、熱によって剥がれや、乾いたインクの粉末の残りが自立つ場合がございますので、なるべくデータを配置しないことをおすすめいたします

白版が必要な場合のデータの作り方について

クリアファイルは透明な素材のため、透けて欲しくない部分、白く見せたい部分には白版が必要です。

白版はカラーより0.1mm小さく作成してください。
クリアファイル素材の特性上カラーと白が0.1mmほどずれるため、目立たない様に白のサイズを変更する必要があります。
カラーのオブジェクトより、0.1mm小さいサイズで白版を作成して下さい。
色はスウォッチパレットから『White』をお選び下さい。

周囲は透明で、文字やオブジェクトに白をひく場合



← カラー

← 白版

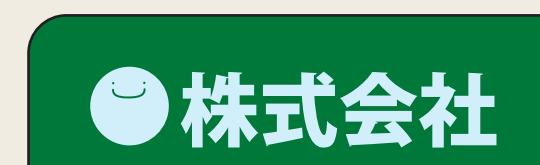
■-0.1mm小さいサイズにする手順

オブジェクトを選択した状態で、メニューの『効果』→『パス』→『パスのオフセット』を選択。
オフセット値を『-0.1mm』に設定して下さい。
パスのオフセットを設定したら、必ずメニューの『オブジェクト』→『アピアランスの分割』を選択して下さい。
オブジェクトに白いフチを付ける方法だと、工程上上手く処理されません。必ず「パスのオフセット」を使用して小さくして下さい。

20pt未満のK100%部分には白版は作成しないでください。
白版レイヤー内に、プロセスカラーのオブジェクト等が残っていないかご確認ください。

白抜き文字など、白抜きにしたい場合は0.1mm大きい白版を作成して下さい。

周囲は白版ありで、文字やオブジェクトを透明に抜く場合



← カラー

← 白版